

ならコープ2024年度 環境保全活動助成団体報告集



1974



1982



1986



1990



1990



1991



1991



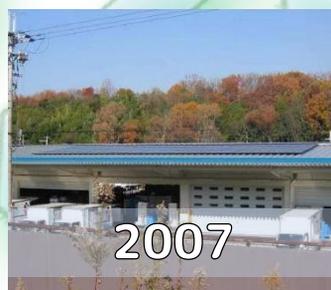
1992



2004



2006



2007



2008



2009



2012



2021



2024

2024年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集の発刊にあたって

ならコープは、“平和とよりよい生活のために”をスローガンに「家族に安心して食べさせられる商品を購入したい」との想いで創立された生活協同組合です。創立以来、「よりよい生活は、平和とよりよい環境の中でこそ実現する」との考えを事業と活動のベースにおき、持続可能な社会の実現をめざして様々な取り組みをすすめてまいりました。地球温暖化に伴う気候危機への行動を「ひとづくり」「まちづくり」の視点を大切に、ならコープ内外で協同の輪を広げ、奈良の豊かな自然と文化を守る取り組みを協同の力で実現することが、多くの市民が参加する組織としての責務であると認識しています。その実現のために、行政や地域で活動される環境保全活動団体のみなさんと、協同して取り組んでいきたいと願っています。

2025年2月に開催した「2024年度 ならコープ環境保全活動助成団体交流会」では、17の団体からの参加をいただき、第1部のワークショップでは、「あなたにとって環境とは？」をテーマに語り合いました。現在の私たちを取り巻く環境を考えた時、その環境をつくってきた過去の暮らし方、そして未来の環境を考えた時、現在を生きる私たちの暮らし方へと自分自身の暮らし方を見つめなおすきっかけになったのではないのでしょうか。限られた時間でしたが有意義なワークショップになりました。

第2部では、ならコープ福西専務理事から、ならコープ環境活動の変遷についての報告を受け、ならコープの環境活動が多くの組合員や市民のみなさんとともにすすめてきたことを改めて確認することができました。

2024年度は環境保全活動に取り組まれている23の団体に助成をし、より多くの市民が参加できる活動、奈良の豊かな自然と文化を次世代の子どもたちに引き継ぐこと、SDGsの具体化をともに目指してまいりました。今後も交流を深めながら、協同して取り組んでいきたいと思えます。

地球環境問題は異常気象と温暖化の悪循環がますます顕著になっています。ならコープ2030環境ビジョンに掲げた「CO₂排出量や食品廃棄量、プラスチック容器包装排出量削減」の目標達成に向けた取り組みの具体化をすすめます。また、気候変動対応員会を新たに設置し、事業者責任を今まで以上に果たしてまいります。

持続可能な社会の実現をめざして、私たち自らの消費行動や暮らしのあり方の見直しを、今後もより一層すすめてまいりましょう。

2024年度環境保全活動 助成団体一覧

	団体名	活動地域
1	馬見シェアリングネイチャーの会	馬見丘陵公園（北葛城郡）
2	アースデイ奈良2024実行委員会	奈良市はぐくみセンター（奈良市）
3	山守の会プラス彩雲ひろば	桜井市
4	東洋コウモリ研究所	こうもり博物館（奈良市広岡町）
5	町思会	奈良市五ヶ谷
6	NPO法人グリーンスポーツ奈良	奈良県
7	若草ネイチャー倶楽部	奈良市
8	奈良・人と自然の会	奈良市
9	NPO法人エコパートナー21	奈良市秋篠町・奈良坂町
10	緑友会	奈良市
11	どんづるぼうの森	香芝市
12	馬見自然塾	馬見丘陵公園（北葛城郡）
13	特定非営利活動法人サークルおてんとさん	奈良県
14	健やか交流塾おもちゃ病院	奈良県
15	笑郷まほろばの会	香芝市
16	奈良県勤労者山岳連盟	奈良県
17	もったいないNARA	奈良県
18	川西町・サークルお花畑	川西町
19	NPO法人 環境市民ネットワーク天理	天理市
20	特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会	奈良県
21	春日山原始林を未来へつなぐ会	奈良市春日山
22	里山の山野草を守る会	桜井市
23	いこま棚田クラブ	生駒市西畑町

馬見シェアリングネイチャーの会

- ・ネイチャーゲームや自然体験活動を通して
自然を楽しみ自然と遊び自然を学ぶ喜びを知ること



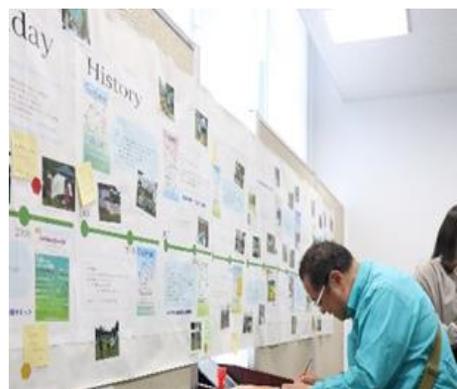
今年度は、馬見丘陵公園の他にも活動の場を広げ、国の登録記念物に登録された明神山へのハイキングや環境省の自然共生サイトに認定されている陽楽の森での自然体験を実施。北葛城郡地域の魅力を楽しむことができるインタープリテーション的要素を盛り込んだシェアリングネイチャー活動ができました。

講師を招いた野鳥観察会では、馬見丘陵公園内の鳥の種類・特徴等の知識を習得でき、今後の活動に繋がる研鑽にもなりました。

アースデイ奈良実行委員会

- ・アースデイ奈良2024
「18才のRestart」

18回目となるアースデイ奈良は、今年から会場や実施内容を一新しました。はぐくみセンターで14団体のパネル展示、4団体によるワークショップなど本部企画メインプログラムのほか、12の団体・個人・企業などと連携し、それぞれの強みを生かした協賛イベント（あちこち開催）を実施しました。実行委員や出展者など関わる全員が主体的に参画することで、イベント全体で「毎日がアースデイ」のメッセージを打ち出すことができました。



山守の会プラス彩雲ひろば

・ 里山林の保全と利用促進

1. 里山林保全と休耕田の景観保全

林内に存する杉、桧林の健全化を計ることが保全上最も重要であると考え、間伐と倒木の処理に取り組み一定の成果を上げ森林の有する機能の向上を図ることができた。

2. 里山の利用促進活動

保育所、小学校の校外学習、NPO、地域など延べ700名が参加する。伐採、皮剥、鋸体験、落葉集め、焚火等を体験することで里山の良さを知り、同時に守る大切さを伝えている。



東洋コウモリ研究所

・ 夜のいきもの観察会

今年度の夜のいきもの観察会は合計42名の参加者を迎え、無事開催することができました。

このコロナ禍において、コウモリのイメージはさらに悪くなった感があります。しかしながら生態系におけるコウモリの役割や実際のコウモリの生態を丁寧に解説し、また野外で観察することを通して、理解を深めることができたと思います。



町思会

- ・五ヶ谷の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与するとともに会員相互の親睦を図る

今年も山の辺の道（奈良道）近くの畑にコスモスやヒマワリをいっぱい咲かせました。

野菜も昨年同様、里芋・南瓜・じゃがいも等手に余る程育てました。残念な事に里芋畑は猪が毎日のように出沒し全滅でした。

奈良マラソンのコースが域内を通る事から、毎年応援用に大きな案内山子を作っています。今年はダルマです。

助成頂いたお金は、肥料や資材購入に充当させて頂きました。



NPO法人 グリーンスポーツ奈良

- ・ダンボールコンポストで生ごみを有機肥料にリサイクルし、活用しよう

生ごみを有機肥料に変え、燃やされる生ごみを減らして、ストップ地球温暖化活動に取り組みました。貴環境保全活動助成を活用して、段ボールコンポストで生ごみを有機肥料にリサイクルする講座を斑鳩町で、又鼓阪北小5年生教室で、地球温暖化対策の1つとして

「ダンボールコンポストの作り方」出前講座を実施しました。生成する有機肥料を活用して、親子参加で“ほっと青山畑”でサツマイモと玉ねぎ菌植えを行い、安心安全な有機野菜を育てる実践をしました。



若草ネイチャー倶楽部

・自然観察会の葉を利用したネイチャークラフト

落葉しているイチョウの葉を各自二枚ずつ持ち帰りました。葉を割いて葉柄をぐるりと一回転して結び、葉柄の先を裂くと蝶々の髭のように見えます。

葉脈見本作りではヒイラギやナンテンの葉を持ち寄り、温めた苛性ソーダの中で葉を煮ていくと堅い葉脈だけが残ります。僅かに残った葉肉は歯ブラシで叩くようにすると全体が透明になり、堅い葉脈だけが残ります。最後にパウチをするとシオリやアクセサリーとして利用出来ます。



奈良・人と自然の会

・「ならやま里山環境整備事業」のビオトープ池の整備および絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」の育種環境の安定化

ビオトープ内の池、湿地、水路に流れ込む水の流れを総合的に見直し、水生生物、植物の生育環境を整備した。その結果、四季の草花や、蛍などの水生昆虫が増えるなど、訪れる人に楽しんでもらう事ができた。また、タナゴの育種については、近畿大学の協力により環境を改善した結果、田貝の生存率が大幅に向上しタナゴも増えるなど、大きな成果を上げた。今後、田貝の繁殖を実現することによりタナゴの成育環境の実現を目指します。



NPO法人 エコパートナー21

・子どもたちと食・農・環境への理解を深める活動

今年も楽しく活動できました。この活動は、農業体験をしながら「人との触れ合い」を楽しめる特別な場所です！子どもたちは、同年代だけでなく、年上のボランティアの人たちとも笑顔で自由に交流し、新しい発見をしたり素敵な時間を過ごしています。多様な人との出会いが、子どもたちの世界を広げ、幸せを育むきっかけになると活動を通じて実感しました。もっと子どもたちにとって大きな喜びと成長の場になるよう続けていきます！



緑友会

・歴史と環境に配慮した景観保全活動

今期の活動も新型コロナウイルス感染防止と熱中症対策をしながら、草刈り・剪定など景観の保全活動を実施しました。

環境保全活動では、昨年に引続き雨水を貯水して灌水に利用すること、焼却時のダイオキシン発生を防ぐため黒マルチを廃止し、全面紙マルチでの雑草対策を行い、効果を得ることが出来ました。耕作後は土に帰りました。

また、芋掘り会は地域の多くの子供達と保護者で楽しく収穫体験をして頂きました。（写真下；親子で芋掘りの状況）



どんづるぼうの森

・どんづるぼうの森の学校

今年度の森の学校は5つの行事ができた。植物系3つ、地学系2つ。そこでの今年の成果は、今までの上に更に積み重ねができたこと、植物系ではひつつきむし、という新たな観察・楽しみ分野が広がったこと。地学系では、どんづる峯を中心とした地学分野の観察知識の土台ができ、今後より広げて行く可能性ができたこと。あと、講演会を通じて新たな山を楽しむ団体と繋がったこと、人の広がりが増え、今後の大きな力ともなることです。



馬見自然塾

・「自然観察会を通じて環境問題の基礎力」を養う。

たとえ都市公園でも都市住民が見て、触って、嗅いで、五感を生かして自然を観察してみると、自分なりの新たな発見があります。この自然への理解が環境保全の基礎力になると考えています。農業は自然に起こる遷移の人為的後退であり、地球46億年の生物の歴史は5回におよぶ大絶滅の歴史であり、第6回目が人類の引き起こしている現在の大絶滅であることがわかります。実際の自然の学習こそ現在の環境問題の基礎力になっています。



特定非営利活動法人 サークルおてんとさん

・地球温暖化やエネルギー問題に関する講演会の開催

ノンフィクションライターの高橋真樹さんを講師に講演会を開催した。「我慢の省エネ」ではなく、建物の気密・断熱性能を高くすることが、健康、経済、エネルギー効率に貢献する。「寒くて暑い家に住むのは当たり前」という意識を行政も市民も転換しようと言われ、まずは自宅や職場で内窓設置など小さな出来ることから始めようと呼びかけられた。参加者からは早速内窓設置等の断熱対策を考えたいとの声が聞かれた。



講師の高橋真樹さん



講演会のようす



会場からの質問に答える講師

健やか交流塾おもちゃ病院

・健やか交流塾おもちゃドクター養成講座

平成22年4月より開設以来県内で23か所毎月1回開催しております。コープ様の店舗3か所でも会場としてご協力をおねがいしております。

おもちゃの修理・修復を目的としていますが、ドクターが高齢のため不足がちで困っており、久しぶりにドクター養成講座を新しい場所で開催することができ20名が参加しました。



笑郷まほろばの会

- ・ 屯鶴峯と周辺の里山環境保全と持続可能な暮らし方の創造

ホタル復活・ササユリ保全プロジェクトの一環としてのコミュニティーファーム、花壇活動と環境や暮らしを考えるセミナーを中心にワークショップを交えて企画した。無農薬の田んぼや野菜、花に加えて、コンニャクやマコモ等の工芸作物を作る人もでてきた。気候の悪さもあいまって生産物はあまり良くなかったが、ホタルの観察、ササユリの初めての開花（播種7年目）、真菰でのリースづくりができ一定程度の成果があった。



野菜作り勉強会



#8月 水辺の観察会

奈良県勤労者山岳連盟・山風舎

- ・ ~ふるさとの自然を伝えよう~

今年度も山の保全活動と親子しぜん観察会を行いました。高円山では、春と秋に自然観察、ナラ枯れ木ビニールシート処理、クビアカツヤカミキリ被害調査、そして高見山では雨天の為、登山口公衆トイレ掃除とそれぞれの山が抱えている課題に取り組みました。「親子向け観察会」では、親子で楽しむ姿が見られ自然への興味関心を深めてもらうことが出来ました。酷暑が続く野外での活動は厳しいものがありますが、今後も参加者の安全と健康に配慮しながら楽しく課題に取り組んでいきたいと願っています。



もったいないNARA

- ・食品ロス削減推進キャラバンに使用する啓発ツールの作成

食品ロス削減推進キャラバンとして、消費者庁から食品ロス削減推進サポーターの認証を受けているもったいないNARAのスタッフが、ならコープ各店舗で毎月15日に実施されているフードドライブの会場に赴き、来店者に食品ロス削減の啓発活動を行っている。

そのためのツールとして、食品ロスの現状と食品ロス削減の重要性や、家庭でできる具体的な削減方法を記したリーフレットを作成し、フードドライブ協力者や来店者に配布した。



川西町・サークルお花畑

- ・花とみどりのまちづくり

昨今の異常気象の影響を受け、花壇や街路樹まわりの植栽の維持・管理はこれまでになく困難をきわめました。会員一同のこまめな灌水作業・手入れ等一年を通じてこれまでの“花とみどりの環境づくり”を続けたことでなんとか乗り切ることができました。また住民同士の交流の場づくりのイベントの企画・参加を行い地域活動の周辺道路の一斉清掃にも積極的に参加して我々の活動の定着を図ることができました。



NPO法人 環境市民ネットワーク天理

・奈良県の絶滅寸前種ヤマトサンショウウオの生息状況調査

2年前、奇跡的に発見された絶滅寸前種ヤマトサンショウウオについて、地元の小中学校で学習会を実施した。学年段階に応じて3名のゲストティーチャーを招き、ヤマトサンショウウオだけでなく、福住の豊かな自然環境について学習することができた。また生物部を中心に、ヤマトサンショウウオの生態を明らかにするためのトラップ調査を年間3回実施した。またヤマトサンショウウオが産卵する2～3月には、ガサガサ調査を実施した。子どもたちは、地域の自然環境についての体験的な学習を通して、福住小中学校が進めるESD教育をより豊かに展開することができた。今後も、継続して絶滅寸前種ヤマトサンショウウオの保護活動を、地元小中学校や地域の皆さんと続けていきたい。また子どもたちは、「ヤマトサンショウウオも、ヒトも住みやすい里山作り」をキャッチコピーに活動の幅を広げており、今後の保護活動がより広く深くなっていくことが期待されている。



特定非営利活動法人奈良ストップ温暖化の会

・環境学習サポーターの養成と環境出前授業「みんなでゼロカーボン!」の実施

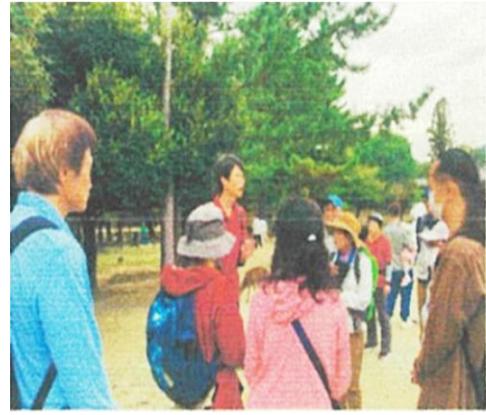
ゼロカーボンシティ宣言市やそれを目指す市町村の小学校に出向き、環境授業を実施しました。次世代を担う子どもたちとともに体験を通して学び、考え、実践につなげるため、主体的に学べる教材の開発し、授業を実施する「環境学習サポーター」の養成研修・スキルアップ研修を3回行いました。気候変動最新動向の講義、授業プログラムのロールプレイ実習、ふりかえり研修等を行い、即現場で活かすことが出来ました。



春日山原始林を未来へつなぐ会

・春日山原始林観察会

今年度は、夜の森と虫、奈良公園のシカ、ネイチャーゲーム、シダの4回を開催することができました。助成金をいただいたので、各観察会では研究者の先生等を講師にお迎えすることができました。奈良公園の鹿は、様々な課題がある中で、奈良公園のシカの生態を丁寧に解説いただいたり、シダの観察会では、普段見過ごしてしまうシダを解りやすく、楽しく観察することができ大変好評でした。



里山の山野草を守る会

・里山の山野草を守る保全活動

2008年3月以来17年間、桜井市三谷地区で山野草自生地の保全活動を実施しています。自然豊かな地であることから例年猪や鹿などの防獣対策に力を注いでいます。今年も助成金で購入しました防獣ネットで柵の補強をいたしました。猪の被害にあい数年前には激減していたヤマユリが徐々に復活し7月には見事な花を咲かせてくれました。山野草はその種に合った環境を保つことが必要であるため、試行錯誤しながら活動を続けています。



いこま棚田クラブ

- ・ 生駒市西畑地区の棚田
- ・ 里山の再生と創造

いこま棚田クラブは2003年10月に、生駒市西畑町の地元からの要請により、休耕田となり荒廃の進んだ景観整備を目的として、設立されました。その後会員の増加に伴い休耕田を有効活用すべく、里山の草刈を中心に農作物の栽培・花畑・竹林・果樹園・梅畑など多方面の活動をしている。また、ならっぴクラブの活動は、親子で菜の花の栽培を10月から翌年6月まで、土に親しみ自然環境を感じる取組みとして好評である。



菜の花草抜き



菜の花脱穀

環境保全活動団体交流会

・ならコープ 本部会議室 2月11日(月・祝)開催

ならコープ
環境保全活動助成団体交流会

50th
ありがとう50年

平和とよりよい暮らしは、

よりよい環境の中でこそ実現する

2月11日(火・祝) 会場
13:00~15:00 開場12:30 ならコープ本部 1F会議室
奈良市恋の窪一丁目2番2号

第1部 グループセッション
これからの環境活動

第2部 基調講演
ならコープ50周年
環境活動の過去・現在・未来

申し込み方法
二次元コードのみ
定員60名



話者:福西 啓次
ならコープ専務理事

主催:ならコープ 環境・エネルギー政策協議会



環境保全活動団体交流会を開催しました。
15団体合計35人の参加がありました。

助成の概要とマイバッグ持参運動の展望をお伝えし、「あなたにとって環境とは？」を題にグループセッションをおこないました。また、福西専務理事にならコープの環境活動の変遷について講演してもらい、感想交流をおこないました。

「ならコープ環境保全活動助成」とは

ならコープでは1979年の買物袋持参運動、そして1982年には組合員へ丈夫な買物袋を提供するマイバッグ運動がはじまりました。省資源・ごみ減量のため使い捨てのレジ袋を1982年より有料化し、ご負担いただいたレジ袋代金の一部を「環境資金」として使っています。2023年からはスプーン（大・小）やストローを有料化し対象を広げています。環境資金は、2005年度から奈良県内で環境保全活動をおこなう団体に対して助成金として活用していただいています。

応募要項（抜粋）

（1）応募資格

奈良県内で活動する団体・グループ・サークル等（個人は除く）

（2）助成の対象

地域の自然環境、地球環境の保全に関わる以下の活動を助成の対象とします。
調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動

（3）助成の基準

1件4万円を上限とし助成します。
募集年度では同一団体への助成は1件のみとします。

（4）助成の流れ

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 募集期間 | 2月機関紙「あをがき」でお知らせ |
| <input type="checkbox"/> 応募期間 | 3月15日までに所定の応募用紙提出 |
| <input type="checkbox"/> 助成先決定 | 4月理事会 |
| <input type="checkbox"/> 助成金交付 | 助成金請求により助成金交付・HP掲載 |
| <input type="checkbox"/> 事業の執行 | 4月から翌年2月中旬までの事業対象 |
| <input type="checkbox"/> 報告書提出 | 事業終了後1ヶ月（最終翌年2月末） |
| <input type="checkbox"/> 報告集作成 | 発行 |

市民生活協同組合ならコープ

〒630-8136 奈良県奈良市一丁目2番2号
TEL: (0742)33-6443 FAX: (0742) 34-8060
ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>

2025年6月
環境エネルギー推進室 発行